

今号の TOPICS～（副代表のご挨拶）

- P1 今号の TOPICS 福島 いずみ
P2 仲間たちの近況報告（1）
1 班 堂下 登美子
2 班 倉本 敏明
P3 仲間たちの近況報告（2）
3 班 宮澤 富美雄
4 班 今堀 昭恵
P4 私の玉手箱 猪野 守
P5 専任幹事ご挨拶
高橋 弥生 原 司
P6 班長の思い 谷殿 美佐恵
P7 樹木ウォッチング 遊上 眞一
P8 絵画コーナー 藤原 敦子
P9 写真コーナー 中川 一成
P12 俳句・川柳・短歌コーナー
山上 恵子 宮澤 富美雄

◇自然と文化だより◇

アメリカにトランプ大統領復活

GDP（世界1）トウモロコシ生産（世界1）同輸出（世界2）大豆生産・輸出（世界2）原油生産（世界1）天然ガス生産（世界1）石油消費（世界1）二酸化炭素排出量（世界2）再生可能エネルギー投資（世界1）原発保有数（世界1）超富裕層人口（世界1上位10%が国の富の66.9%を1%が30.3%を0.1%が13.58%を保有、下位50%の保有は2.5%）

国防予算（8580億ドル世界1）

配備核弾頭（1770世界1）

保有核兵器（5044世界2）

アメリカ・ファースト（孤立主義）で世界の自然と文化の未来はどうなる？

tsukashara

最近おもうこと

副代表 福島 いずみ

これからは介護をと思った矢先に母が亡くなり、急に時間ができ、シニア自然大学に入りました。ここで植物の世界の面白さを教えていただき、私の新しい世界が開けました。

こんなに楽しい老後生活は想像もしていませんでした。せめてもの恩返しに本科のアシスタントや、地元のボランティア活動をしたりしながら、植物の勉強も楽しんでできました。自然と文化科でも、お役に立てるならと思って万博NFや調査委員会の幹事などを引き受けましたが、どれもまともに機能した試しがありません。マネージメントすることができないのです。面倒な仕事を人に頼むことが苦痛で、頼んで嫌な顔をされるくらいなら自分でやる方が楽だからです。しかし、これは組織を運営するには最悪のスタンスですね。幸いまわりの皆さまが手厚くフォローして下さったおかげで、事なきを得たようなのですが、副代表などという仕事は全く向いていないし、実際何一つやっていません。

最近の運営委員会で若手の方々の主体的で積極的な取り組みを見ていると、とても心強く、明るい希望を感じます。やはり、運営は若手のフレッシュな考えで進めていくのがいいと思います。なぜなら、言うだけでなく責任をもって動けるからです。責任をもって活動できないなら、言うべきでないとも思います。代表が長くやりすぎているという意見を聞きますが、では「あなたがやってください」と言いたいです。次世代を育てなかったなどの声もありますが、60台で入科された人が多かった時代とは事情が違います。80台の方も増え、活動の形態は変えざるを得ないと思いますが、入科した当初の楽しかったあの刺激的な体験を若手の方々に是非体験させてあげたいと思います。魅力的な先輩方と一緒に活動したり、お話しできるのはすごく幸せなことです。こんなにカッコいいステキな先輩が多い科は他にないと思います。先輩方も努力を怠らず、魅力いっぱいトークを後輩に向けて発信して下さい。私たちも精いっぱい努力し、いつかは憧れられる先輩になればと思っています。若手の皆さんもどうか遠慮せずに、頼りない中堅（？）の私たちにたくさんの刺激を与えて下さい。

みんなが努力し、みんなで盛り上げる、魅力的な人がいっぱいいる科として、ますます発展することを願っています。



逃げ出したホウライシダ

1 班 堂下 登美子



ホウライシダの学名には「ビーナスの髪の毛」の意味の言葉が入っている。しなやかな黒褐色の葉柄を例えたものだろう。葉柄に散りばめられたような黄緑色の小葉。爽やかな気分させられる

シダ植物だ。もともと南方系の植物で花屋では属名のアジアンタムとして人気のシダ植物の仲間。

かつて温室から都市部の石垣や排水溝の内壁などに逃げ出したようだ。逃げ出した場所は気付かれにくい場所。箕面でも、駅近くの水路や瀧安寺下側の川べりだ。JR 阪和線三国ヶ丘駅のホームでは金網越しに溝からあふれて見事に茂るが。



少し前、関連する十数年前の文面を見つけた。「神戸市営地下鉄湊川駅ホームで構内の線路沿いにびっしりとホウライシダが生えているのを見ました。…ホームを照らす蛍光灯のわずかな光の中で…」とあった。

神戸市営地下鉄に湊川駅は無く、また、すでに抜き取られているだろうが、10 月下旬ダメもとで名前の似ている湊川公園駅に出向いた。確かに線路脇にずうっと青々した植物が生えている。が、何かは確認できない。運良く線路脇で作業する方々がいたので植物を取ってもらった。紛れもなくホウライシダ。たくましい！美しい！泥土も臭くない！乗降客は太陽光のない所で育つ植物さえ単なる雑草と思っているだろうが。



店先のホウライシダと共に、逃げ出したたくましいホウライシダも、もしかして今後脚光を浴びるかもしれない。最近、日本のヘ

アカラーの会社が「ホウライシダ葉エキス」は毛髪の再生に効果があることを発見したようだ。今後、新製品開発にも応用していくらしい。白く薄くなっている私の髪の毛にも学名通りの朗報か。

太山寺と安養院庭園

2 班 倉本 敏明

神戸市西区に天台宗の太山寺（神戸市内で唯一の国宝建造物）があり、私の家からゆっくりと歩いて 1 時間くらいで行けます。



太山寺仁王門

太山寺遠景

太山寺の本尊は薬師如来。開祖は藤原宇合と言われていて仁王門や阿弥陀如来坐像などは重要文化財に指定されています。この傍には伊川が流れ、周囲は照葉樹林（極相林）と田園が続き、傍には近隣の人が訪れる太山寺温泉があります。太山寺の4つある塔頭の内の安養院は通常非公開ですが春と秋の2回だけ公開されていて、その庭園が有名です。安養院庭園は安土桃山時代に作庭された枯池式の枯山水庭園様式庭園で国指定重要文化財名勝とされています



安養院の佇まい

これから紅葉が美しく、多くの方が訪れます。

安養院庭園

太山寺の阿弥陀堂や原生林（県天然記念物）を借景として県下で最古に属する庭とされています。



太山寺の裏山には帝釈観音道や太陽と緑の道、そして伊川沿いには摩崖仏や重箱岩の奇石が自然の中に溶け込み、親しみやすい市民の散策コースとなっています。ここは神戸市の端っこですが四季を通じて自然観察も行え、私の好きな場所の一つです。皆さんに知って頂くと嬉しいです。

「日本庭園」という文化

3班 宮澤 富美雄

「日本庭園」の魅力に、すっかりハマってしまいました。調べれば調べるほどこのテーマは面白い。庭は長時間観ていてもまったく飽きないし、なにより楽しい。特に「石組の造形」の美しさに魅入られている。

発端は、病気をして活動が制限されたこと。「さて何をしようか」と辿り着いたのが、「日本庭園」の勉強であった。日本庭園は、代表的な日本文化のひとつで、飛鳥時代から1300年以上の歴史がある。(ということも、初めて知った)

今までいくつかの日本庭園に行ったことはあるが、単に「見た」だけで、「観てはいない」し、理解もしていない。ということで、まずは図書館で本を借りて勉強開始!!
読み始めて「これは、これは」と思ったのは、日本庭園には実にいろいろな要素が関係、影響しているということ。自然崇拜・磐座・須弥山、道教・仏教・禅などの宗教や、茶道・わびさび・石灯籠・蹲踞など、勉強する項目の多いこと……。
禅とは何?陰陽五行説とは?神仙思想?などと調べていくと、迷路に入り、本末転倒になりそうだが、ひとつひとつが実に面白い。

並行して京都を中心にあちこちの庭園を観て歩き、それをInstagramに載せることにした。今までに訪問した日本庭園は約80庭。京都、東京、4月には鎌倉、9月には福井市の庭園を鑑賞。全国に、江戸時代以前の古日本庭園は300以上あるということなので、この趣味は当分終わる心配はない。ただ交通費が嵩むことが難ではある。



平城宮跡・東院庭園（奈良時代／復元）

山歩きと花-高山植物-

4班 今堀 昭恵

私は山が好きであちこち登りました。頂上までが遠く、しんどいなあと思うとき、ふと足下を見ると、岩の間に色とりどりの小さな花が、肩寄せ合っていて、励まされました。

自然大学に入り、あざやかな花が一斉に咲くのは、昆虫をおびきよせるため、低く咲くのは強い日差しを免れるため、雪解けをまって咲くためなど、いろいろな理由のあることを学びました。

名前が分からず出会った最初の花は、東北の山のミヤマウスユキソウでした。白くて可憐で、かわいくてひかれました。そのうちに、ウスユキソウに種類がたくさんあることを知りました。



中央アルプスではヒメウスユキソウ、東北ではミヤマウスユキソウ、岩手の早池峰山ではハヤチネウスユキソウ、谷川岳ではホソバヒナウスユキソウ、南アルプス縦

走する中ではミネウスユキソウ、今年は北海道の利尻・礼文でレブンウスユキソウとエゾウスユキソウを観察してきました。ただ何回みてもその違いが分かりません。

利尻・礼文と、南アルプスとが同じ景色で、同じ高山植物が咲いているのに驚きました。南アルプスの2500 ㍎と、利尻山 800 ㍎・礼文岳 350 ㍎と同じとは…。約一万年前の氷河期のあとの水面上昇にともない、生き残ってきた植物を、日本の各地の山々に登ることで見ることができます。その感激を味わい、山登りが面白く、やめられなくなりました。



今年、自然と文化科4班の人たちと立山登山をしました。私にとってこれまで立山は北アルプスへの通過点でした。しかし、皆さんに花の名前・種類をたくさん教えてもらい、ゆっくり観察しながらの山歩きは、とても楽しく、時間がたりませんでした。自然と文化の先輩方と登山する楽しみができました。

私のクラフトご紹介

3班 猪野 守

最近私に対してなぜかクラフト教室の講師依頼があります。しかし、人数が35人、40人と多くの方がご参加いただけます。

しかも、ネイチャークラフトなのです。

急な依頼に備えて、私の自宅には、タイサンボクの実、まつぼっくり、ヒマラヤスギ、クヌギなどのどんぐり各種、メタセコイア、コノテガシワ、そして、カボチャやヒマワリそしてメロンなどの種を乾燥させたもの、小枝、工作用具など家族からクレームが出るほどいっぱいです。

参加人数が多いので、材料や用品をセットするのも夜遅くまで大変で、採算も合いません。

今年も、妻にお願いして、どんぐり（特にカクト）を集めてもらいましたら、素敵な物をたくさん拾ってきてくれました。感謝です。

私のどんぐりの保存方法は冷凍と乾燥です。これだとあまり色落ちがしないからです。

さて、最近のクラフト作品をご紹介します

Ⅳまつぼっくりのフクロウ

（フェルトを使いました。本当はすべて自然物ばかりで完成させたかったのですが、材料がそろわないので）

初心者がほとんどなので全員に型紙と作業工程図を配布します。また、高齢者も多く小さな作業は嫌われます。



マツボックリを使いますので、松の実について学習してから始めます。今回は、友人が撮影した、鱗片の開閉の動画をご覧くださいました。また、受粉の仕組みを学習しました。

- ① マツボックリに羊毛フェルトを巻きます。
鱗片を浮かしてフクロウのおなかができるように串カツの棒で抑えこみます。
- ② 布フェルトを型紙に沿って切り分けます。
羽根、頭の毛、眼部、鼻、足など
- ③ 活眼を張ります。
フクロウの眼はくるっとしているので、木の実より活眼のほうがかわいくできます。
- ④ 足を付けたら出来上がり
どんぐりのクラフトとともに飾ってケースに入れる

Ⅳどんぐりのトトロ



せっかく妻が集めてくれた、クヌギの実、これをつかわない手はあり得ません

- ① クヌギでトトロの腹部分を決めて白の修正ペンまたはマジックで塗ります。
- ② その部分が乾くまでに、ほかの飾り物の配置を考えて仮置きします。
- ③ 活眼を貼り付けます。
- ④ お腹が乾いたらへ字を書いてゆきます。
- ⑤ 頭に帽子をかぶせます。クヌギのカクトを使う場合は、そのまま使うと顔が隠れてしまいますので顔に当たる部分は髪の毛を短くカットしてあげます。
- ⑥ 彩をよくするために、スーパーの調味料コーナーに売っているペッパーの実などを飾ります。
この時、先にボンドを接着する部分にたらしめます。その上にパラパラとまき、必要な部分だけ抑えて固定します。
- ⑦ 飾りつけして、ケースに入れます。完成

クラフトは、できるだけ各自で工夫して作ってもらいます。そうすると、それぞれに特徴がある素敵な作品が出来上がります。

運営委員になって思うこと

総務専任幹事 高橋 弥生

気づけば4年生に。そして、今年度から総務専任幹事として科の運営に携わっています。私が入科したときは、コロナ禍の最中、なるべく密な接触は避け、活動回数も少なかったのです。そんな中で、顔見知りの人もほとんどなく、名前も分からず、誰とも話をせず一日が終わり…一緒に入科したMさんに不安や不満をボソボソ言いながら帰ったものです。正直辞めたかった。1年目は大事です！！

それが班長になり、気づけば専任幹事へという流れに乗っていました。活動するなら楽しくやりたい、それぞれの個性が光る活動をしたい、とスイッチが入ったのです。まず、心がけているのは各委員が自由な発想で意見が言える雰囲気作りです。先輩方が積み上げて来られた20年の歴史を大切にしながらも、新しい発想で変化をもたらすことも必要だと考えています。今年度から各班長もメンバーとなり、活気ある会議の場になっているのではないのでしょうか。検討議題が多く、持ち越しになることもあり、会議が終わると、長〜い1日が終わったとほっとします。

会議で話し合ったことをいかにわかりやすく科員に伝えるか。結論だけ報告するのではなく途中経過も議事録に載せることで、より中身を理解していただき関心を持ってもらうよう各委員が工夫と努力をしています。1年2年目の方にもわかりやすく透明化した運営委員会を目指しています。正直、邪魔くさい、面倒なこともあります、ど

うせそこに身を置くのなら皆さんの力になりたいとい

う、変な責任感が働いてしまう私です。代表一人だけに大きな負担を負わせず、皆が力を出し合って運営していくべきだと思います。科員全員で運営を盛り上げてください！！

植物園で癒されています。背中合わせに咲くマルバノキの花。

またまた・こんなはずでは 夢見る 75

広報専任幹事 原 司

自然と文化に入科して、まずホームページの充実していることに驚きました。当然何人もの人が作業を分担して管理運営しているものと思ったのですが、なんと玉尾洋一さんが一人でやっているというからびっくりです。おまけに機関紙の編集まで一手に引き受けているというのですから、その超人的な能力にあきれると同時に、この人にもしものことがあったらどうするのか、たちまちすべて止まってしまうのではないかと、驚きは経営問題に対する心配にまで発展し、思うがままぶつぶつ言っていると、それならあんたが加わっては、となり、気が付くといつの間にか専任幹事までやることになってしまいました。まるで大沢代表の詐欺にかかったようなものです。

ホームページの中身を触るのは全く初めて。少しずつ勉強していこうとやりはじめましたが、引き続き管理していただいているのをよいことに遅々として進んでいません。仮に将来十分な知識と技能が身についたとしても現状のような即応性・瞬発力は天性のものもあり、なんでもいつでも遅れる方向音痴の私には絶対に無理！ここはさらにどなたかに加わって助けていただくほかありません。そうして態勢が整い、安心して引き継げるようになるまで、玉尾さんどうかお元気で。

前年度意向調査の意見で出された、原稿割当者の選定困難や原稿負担の軽減の課題、プライバシーないしセキュリティーの問題等については来年度からの実施を目指して先に提案したところで。また、将来的にはホームページを科員どうしの相互理解にとどまらず社会への発信のツールとしてもっと活用できたらなあと思っています。

そんな日が来るまで、まだまだ続ける覚悟ですので、みなさん気長に応援よろしく願いいたします。

今年ももうわずか
よいお年を！



班長のひとりごと

3班 谷殿 美佐恵

入科3年目、班長となる。私に務まるのだろうか？

初めての班会議、不安と緊張で押しつぶされそうだった。決めることが山ほどある。まずは、旅行・万博NF委員。さっと挙手があり、ほどなく決まる。次は、自然と文化だよりの原稿執筆者。「どなたか・・・？」と呼びかけるとだんだん手が上がり、次々決まっていく。最後に、活動記録作成者。先輩から助言いただいて作成した担当表を配布し、班員の皆様のご意見を待つ。原案通り承認いただく。3班の皆さんのあたたかさを感じ、感謝いっぱい初回班会議を終えた。なんとか班長を務められるかも・・・と思えた。

班別活動は行先・世話役を決めるのが大変だ。しかし、ここでも先輩方がリードしてうまく進めて下さる。5月花の文化園観察会、6月上坂部西公園観察会、7月中之島ぐるっと橋巡り、9月大阪地裁・裁判員裁判傍聴、11月武田尾・桜の園紅葉探索ハイク、12月まほうびん記念館見学・・・。内容が多彩で面白い。

班長でしんどい事も色々ある。たとえば、
①活動を休みにくい。他の活動、家の用事等ある時も、科活動優先にしなければならないと思っている。
②出欠確認のため毎回早めに集合場所に行かねばならない。近い所ならいいが遠い所は辛い。
③第3金曜日の連続会議。総務、委員会、全体、運営、と4時間半（12：30～17：00）も会議が続く。

愚痴を書いってしまったが、見識の広い科員の皆さまとの活動は楽しい。知らなかった世界が開けてくる。先輩方に支えていただいて班長として頑張ろうと思う。皆さま、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



***** 速 報 *****

自然と文化科発足 20 周年記念！

ロゴマーク決定

投票の結果福島さんの作品が当選しました



シャクナゲ いろいろ

2班 遊上 眞一



花も葉も小さいキバナシャクナゲ
最も高い所に咲きます。北岳で撮影



尾瀬の大江湿原に咲く、ヒメシャクナゲ
亜高山帯～高山帯の湿地に生えます



蜜標が緑色のハクサンシャクナゲ
亜高山帯に咲きます。高峰高原で撮影



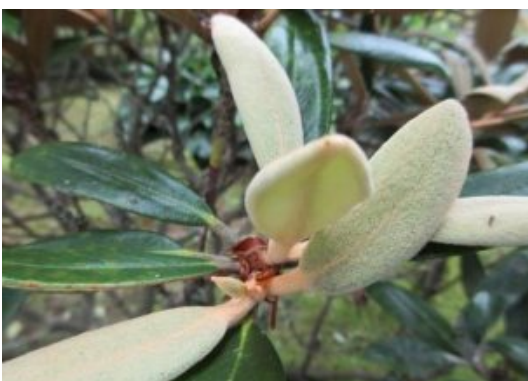
冬支度で葉を丸めるアズマシャクナゲ
忍冬のようなですね。10月22日金峰山で撮影



花冠は7裂・豪華なホンシャクナゲ。堂満岳



ホンシャクナゲの葉裏。赤褐色の毛が密生

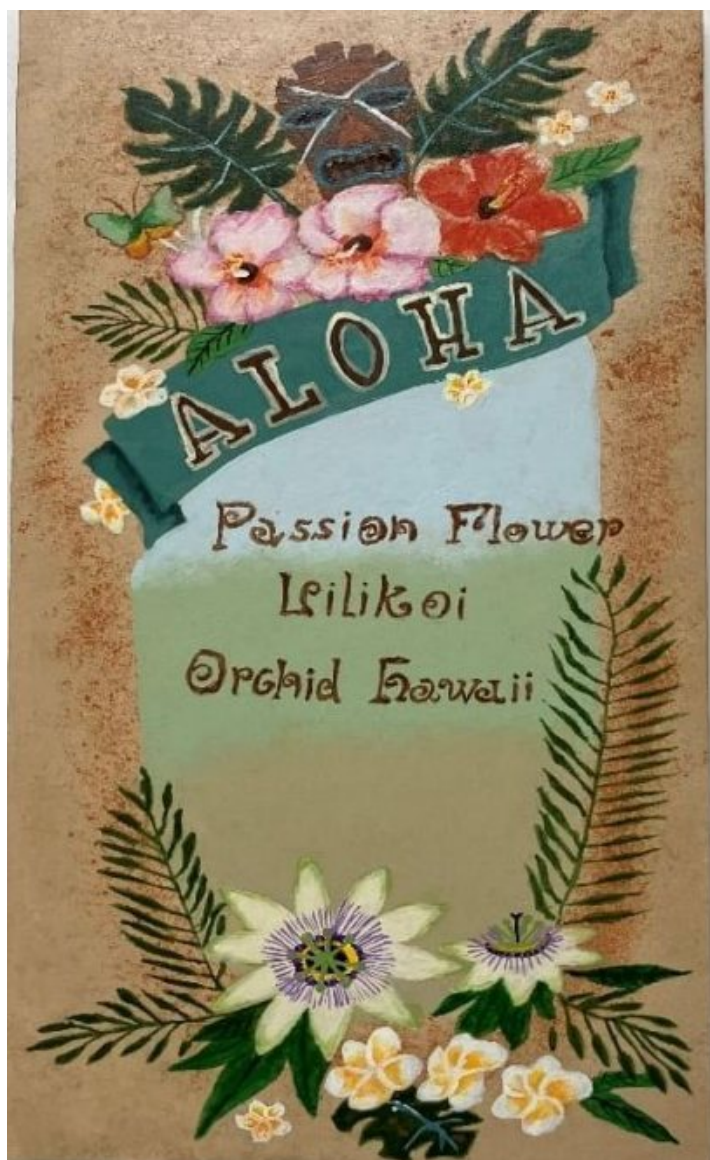


ヤクシマシャクナゲ。葉の表・裏・柄に毛が厚く密生。6月27日 五月山緑化センターで



ヒマラヤ山系に分布するシャクナゲ
花冠は7裂。樹高8mと高い。花明山植物園で

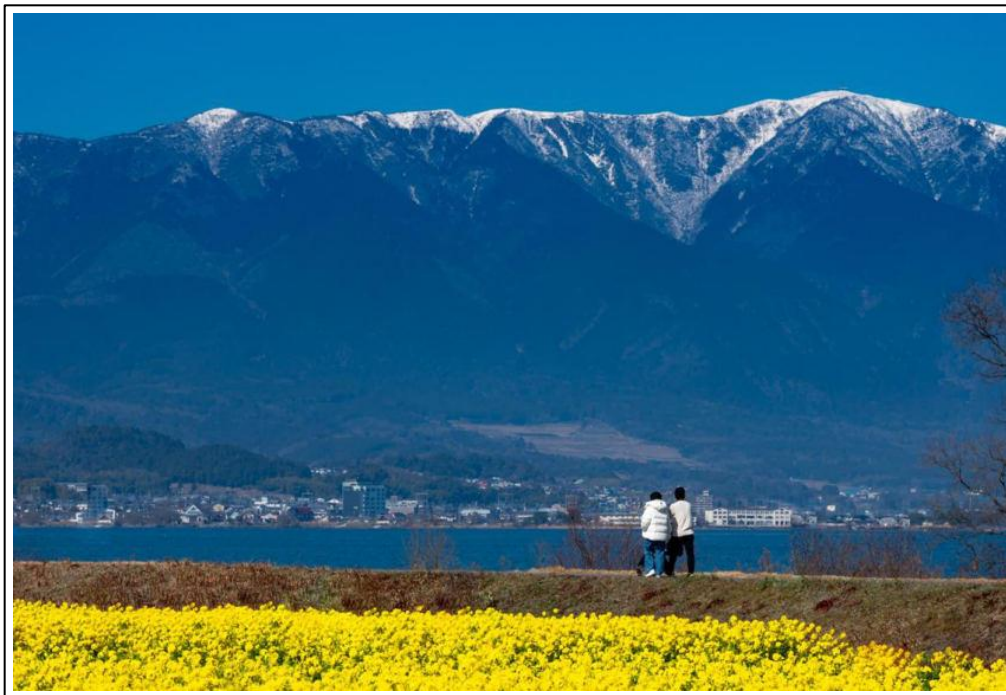
2班 藤原 敦子



2024
暑かった！

2025
良い年を！





早 春 の 琵琶 湖

滋賀県 守山市 2024.03



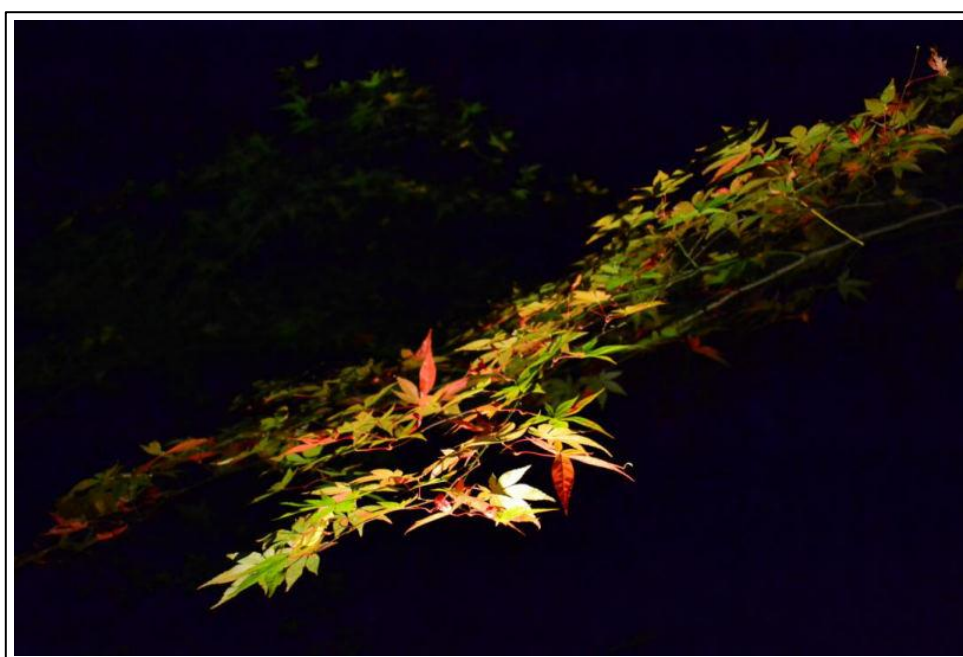
朱 砂 色

能登川町 猪子山からの琵琶湖
2022.04



鐘 楼 と 紅 葉

東近江市 東光寺 2018.11



晩 秋 の ス ポ ッ ト ラ イ ト

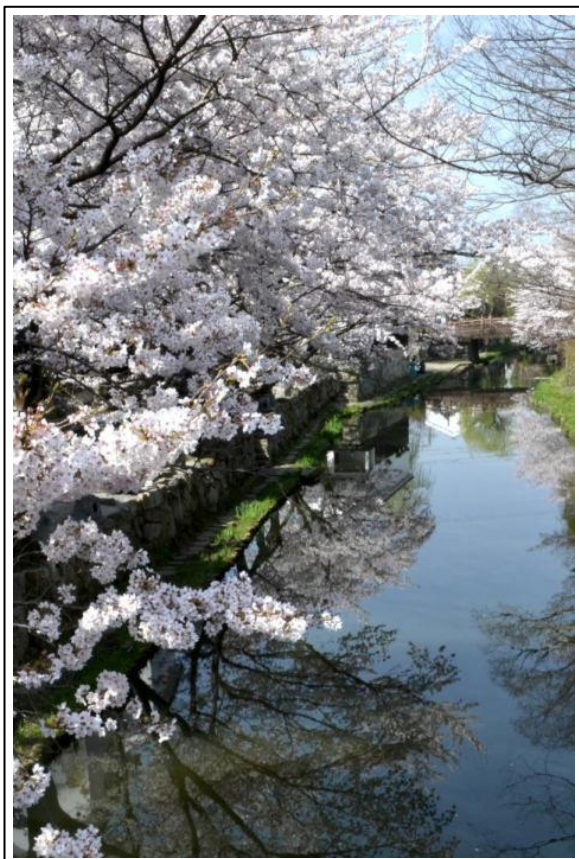
亀岡市 神蔵寺 2021.11

* 所属クラブ フォトさんぽ **会員募集中** (連絡先: 3班 中川まで) ・ 講師1M 会員 7 M(女性 1 M)
 ・ 活動内容 撮影会/毎月第一木曜日(原則) 例会/毎月第四水曜日 10~12時 場所 高槻市クロスパル



ツバメが走る

梅田 2023.12



川面の桜

近江八幡市 水郷 2022.04



小春日和

法隆寺界限 2024.10

2 班 山上 恵子

3 班 宮澤 富美雄

俳句

- 鉢植の一つ一つが紅葉する
- 故郷へ一本の道冬ざるる
- かの人に心届ける年賀状

川柳

- 大道芸背伸びしたって見えやせぬ
- 親父よりやはり地震の怖さかな
- きな臭い出来事ばかりが目白押し

短歌

- また明日言える言葉が嬉しくて心の中で
また あした
- 日常と非日常の落差知るただ日常の有難
きかな

川柳

- 朝いちの 便座の冷たさ 秋を知る
- ヤンキーに 席を譲られ うろたえる
- 「後期」とは もうすぐ終わりの 案内か
- 青春を かばんに詰めて 苔の寺
- 人生が リセットできても 今の妻



おかげさまで無事に 63 号を完成することができました。

内外ともに先の見えない激動の中で 2024 年が暮れようとしています。来る年がよい年でありますよう切に祈ります。

（編集等に対するご意見をお寄せください⇒ tsukasha@mac.com）

広報委員会